

[成果情報名]カラタチ台タンカン「垂水1号」の落葉と冬季の低温との関係

[要約]カラタチ台タンカンの発育枝春葉の3月までの累積落葉率には、多発年と少発年があり、12月の平均気温が低く、11～2月までの0℃以上の積算温度が少ない年に、落葉は多発する。

[キーワード]カラタチ台木、気温、積算温度、タンカン、累積落葉率

[担当]鹿児島県農業開発総合センター・果樹部・常緑果樹研究室

[代表連絡先]電話 099-245-1138

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

鹿児島県本土および熊毛地域のカラタチ台タンカンでは、冬季に褐色斑点を伴う落葉が発生する。カラタチ台タンカンにおける冬季の落葉に関しては、低温の影響が指摘されていることから、落葉と冬季の低温との関係を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. カラタチ台タンカンの発育枝春葉の3月までの累積落葉率は、年により5.7～88.3%と異なり、80%以上の多発年と10%以下の少発年に分けられる(表1)。
2. 11～2月の月別の平均気温のうち、12月の平均気温は、落葉の多発年には8～10℃、少発年には11～12℃と、多発年では少発年よりも低い(図1)。
3. 11～12月、11～1月および11～2月の0℃以上の積算温度は、多発年では少発年よりも少ない(図2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 本研究情報は、鹿児島県本土等におけるカラタチ台タンカンの落葉と冬季の低温との関係を示すものである。
2. 解析には、旧鹿児島県農業開発総合センター果樹部(垂水市本城)で得られた2010～2017年までのデータを用いた。2010～2013年までは7～9年生樹を用い、2013～2017年には供試樹を変更し、5～8年生樹を用いた。

[具体的データ]

表1 3月におけるカラタチ台タンカンの発育枝春葉の累積落葉率

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
累積落葉率 (%)	88.3	85.0	84.0	81.0	87.0	8.0	5.7

注) 累積落葉率：2011年3月9日、2012年3月21日、2013年3月11日、2014年3月14日、2015年3月17日、2016年3月15日、2017年3月14日に、発育枝春葉100枚×3樹を調査

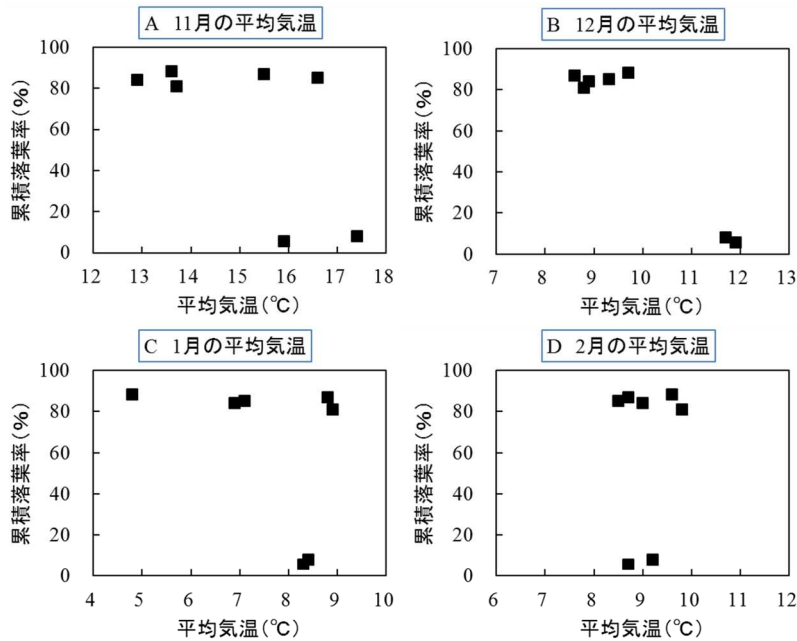


図1 3月における発育枝春葉の累積落葉率と11～1月の平均気温との関係

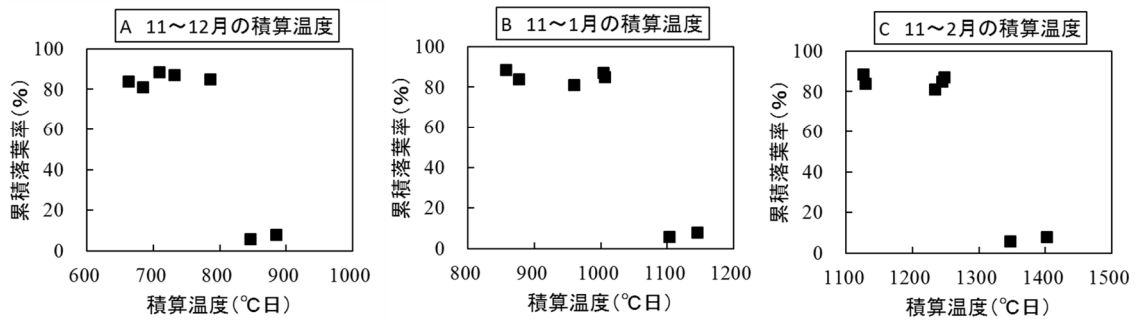


図2 3月における発育枝春葉の累積落葉率と11～12月、11～1月および11～2月の0°C以上の積算温度との関係

(鹿児島県農業開発総合センター)

[その他]

予算区分：県単

研究期間：2010～2016年度

研究担当者：内野浩二、久木田等、岩田浩二、熊本修

発表論文等：岩田ら(2016)、2016年1月下旬の寒波がタンカンの果実品質に与えた影響、熱帯農業研究9別2